

## 第24回北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会（議事録）

### 1 日時及び場所

令和元年（2019年）年6月3日（月） 14時20分～14時40分  
道立北方四島交流センター 1階視聴覚室

### 2 出席者

【委員】 根室市長 石垣 雅敏／別海町長 曾根 興三／中標津町長 西村 穰  
標津町長 金澤 瑛／羅臼町長 湊屋 稔／北方領土対策根室地域本部長 大内 隆寛

【事務局（北海道北方領土対策地域本部）】

副本部長 東田 俊和／室長 山田 昌弘／主幹 伊賀 哲  
主査 近藤 洋平／主査 亀井 良司

### 3 議事

#### （1）協議事項

第8期振興計画の重点施策に係る実施計画について

#### （2）その他

### 4 議事録

#### （1）開会

（山田室長）

ただ今から、第24回北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会を開催します。

本日司会進行を務めさせていただきます、山田です。6月1日付けで北方領土対策根室地域本部北方領土対策室長と発令されまして、本日着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

それではさっそく協議会に入らせていただきます。

まず、開催に先立ちまして、協議会座長であります北方領土対策根室地域本部長の大内からご挨拶申し上げます。

（大内座長）

北方領土対策根室地域本部長の大内でございます。本日は、ご多忙のところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。協議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

北方領土問題に関しまして、日頃から多大なご支援、ご協力をいただいておりますことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今月末開催のG20にあわせ、日露首脳会談が予定されております。現在四島での共同経済活動の早期実現など、様々な調整が進められています。

こうした中、外交交渉を後押しするには、我々関係者が一丸となって、世論の喚起に取り組み、若い世代への啓発活動の強化や、後継者育成などを推進していくことが大変大切だと思っております。日々北方領土を望む隣接地域1市4町の振興と生活の安定を図っていく

ことが重要であるとも認識しているところです。

そのためには、昨年策定した第8期振興計画が、より実効性のある計画となるよう、各市町が策定した実施計画について情報共有し、取りまとめたいと考えています。

道といたしましては、ここ、北方領土隣接地域の発展と振興、住民生活の安定が一層図られるよう、最大限の努力をしてみたいと思いますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いし、ご挨拶とします。

(山田室長)

以後の議事の進行につきましては、大内座長にお願いします。

(大内座長)

それでは、早速ですが、議事に移らせていただきます。まず始めに、協議事項について事務局からご説明します。

(伊賀主幹)

ご説明申し上げます。お手元の資料1、実施計画については、第8期振興計画に基づき作成するもので、振興計画の推進にあたり、各市町が重点施策と位置づけた施策について、振興計画終了時点、令和4年度末に向けた展開方法、定量的な到達目標などを盛り込み毎年度策定するものであり、この実施計画に基づき、事業の推進管理や効果検証を行うことなどで、振興計画の実効性を確保しようとするものです。

各市町の実施計画作成状況については、3の表のとおりとなっております、第8期振興計画の6つの柱全体で34本の実施計画が策定されました。

なお、3の表において、●(黒マル)の付いていない項目がありますが、これらは今年度を実施する事業がないか、若しくは、他の柱と連携して実施することから、中心的な柱の方で整理しているためです。

次に4にある各市町の主な実施計画について説明させていただきます。なお、実施計画に基づき行われる事業には、基金補助金等の他に、各市町の単費を活用した事業も含まれています。

まず、根室市は、活力ある地域経済の展開など合計で11本の実施計画を作成しています。個々の実施計画は資料2、P1からP18のとおりです。

主なものとして、水産業では、根室産水産物の高品質、高付加価値化と、地域ブランド力の強化に努め、根室市産水産物の需要拡大を図ることなどを旨し、具体的には、種苗放流などにより水産資源の維持、増大を図り、沿岸漁業水揚量を増加させようとするものです。

また、漁村地域での根室産水産物を用いたイベントの開催や首都圏でのPR活動などにより水産加工品出荷額の増大を目標としています。

次に別海町は、地域の資源を活かした交流人口の拡大など8本の実施計画を作成している。個々の実施計画は、資料2のP19からP27のとおりです。

主なものとして、交流人口の拡大については、さらなる観光客誘致を旨し、野付の千島桜、旧奥行臼駅通所といった地域の自然、文化財の観光への活用を目的とした交流施設の整

備促進などを重点施策として位置づけています。

具体的には、観光施設の改修・整備、多言語対応観光パンフレット作成、文化財を活用した観光客誘致等の事業に取り組み、観光客入込数などの増加を目標としています。

次に中標津町は、地域の資源を活かした交流人口の拡大など5本の実施計画を作成しています。個々の実施計画は、資料2のP29からP39のとおりです。

主なものとして、交流人口の拡大については、管内唯一の空港を活用した観光客や教育旅行の誘致等により観光振興を図り、地域産業・経済の安定に繋げることとしています。

具体的には、根観連による観光PR事業や、中標津空港の利用促進目的とした首都圏での旅行商品造成・販売、観光PR、LCC・チャーター便の誘致などの事業に取り組み、観光客入込数や中標津空港搭乗者数の増加を目標としています。

次に標津町は、地域の資源を活かした交流人口の拡大など3本の実施計画を作成しています。個々の実施計画は、資料2のP41～P44のとおりです。

主なものとして、交流人口の拡大に関しては、標津サーモン科学館の計画的な施設整備等により観光客の増加を目指すこととしています。

具体的には、標津サーモンパーク新規魅力づくり事業に取り組み、観光・交流拠点、地元特産品の発信の場としての機能の維持・向上による、入館者の増加を目標としています。

最後に羅臼町は、活力ある地域経済の展開など7本の実施計画を作成しています。個々の実施計画は、資料2のP45～P55のとおりです。

主なものとして、水産業について、沿岸資源の増大、適切な漁業管理の推進などを目指す姿としており、具体的には、種苗放流、種苗生産、移殖等により水揚げ高増大を図ったり、水産物PR活動による販路拡大、ブランド化推進による、知床らうすブランド認証品数増加を目標としています。

これらの実施計画に基づき、重点的に展開する事業を基金補助金等の対象とし、振興計画の実効性を確保してまいりたいと考えています。

事務局からの説明は以上です。

(大内座長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございませんか。特にご意見等がなければ、事務局から説明のありました実施計画を「令和元年度実施計画」として、地域協議会でこの原案のとおり、取りまとめることとします。以上で議事1は終了とさせていただきます。

もう一つの議題として、北方領土問題全般に関してご意見等ありましたら、意見を頂戴できればと思います。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了とさせていただきます。

本日はご多忙の中、誠にありがとうございました。

(了)